

花の実ごろ情報



カキノキ (柿の木) カキノキ科 カキノキ属
学名: Diospyros kaki Thunb

原産は、日本、韓国、中国等の東アジアの落葉小高木で樹高は、3～6mになる。

柿の実には、渋柿と甘柿があるが、柿の実の渋みのもと水溶性タンニンが含まれており、これが口の中で溶けると渋く感じる。炭酸ガスやアルコールを用いて渋抜き処理をすることで、タンニンが不活性化するため、渋みが抜ける。

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。
YouTube サイトで検索 🔍 マークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html

◇花の見ごろ情報は、年6回（2ヵ月ごと）の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 36

花の見ごろ情報

2021
11・12

今月の花



キダチダリア



ジュウガツザクラ



ケヤキ (黄葉)



イロハモミジ (紅葉)

Android 版

iOS 版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



今月の花

キダチダリア (木立ダリア) キク科、ダリア属 学名: *Dahlia imperialis*

原産は北米大陸メキシコ～南米大陸コロンビアに分布する多年草。

標高 1,500～1,700mの高地・山地で生育し、草丈高さは、8～10mに達する巨大なものもある。秋の空にそびえ立つ威厳ある姿は学名の (D・インペリアリス) 訳した皇帝のダリアに由来し、「皇帝ダリア」の名でも呼ばれる。

キダチダリアは短日植物で、夏の暑い季節はあまり成長しないが、9月も中旬を過ぎて涼しくなる頃には急激に茎が成長し、10月中旬頃には花芽を付け、11～12月上旬にかけてピンク色の花を咲かせる。

葉は対生で、鋸歯があり2～3回羽状複葉で、小葉は卵形～長楕円形で先が尖る。

キダチダリアは、秋留台公園、小山内裏公園、小金井公園、神代植物公園、亀戸中央公園、大島小松川公園、水元公園などでご覧いただけます。

ジュウガツザクラ (十月桜) バラ科サクラ属 学名: *Cerasus×subhirtella 'Autumnalis'*

ジュウガツザクラは、江戸彼岸 (エドヒガン) と豆桜 (マメザクラ) の交雑種といわれ、江戸時代に作られた園芸品種の落葉高木で3～7m程に成長する。

花びらは白～薄いピンク色で大きさは25～35mmほどである。また、このサクラの特徴は二期咲であり、始めの開花は、蕾の三分の一ほどが秋から冬にかけて開花し、一般のサクラが咲かない時期に開花するので人目を引く。残りの蕾は3月下旬から4月上旬に開花する。

ジュウガツザクラは、小山田緑地、武蔵国分寺公園、野川公園、神代植物公園、砧公園、芝公園、汐入公園などでご覧いただけます。

ケヤキ (榎) ニレ科ケヤキ属 学名: *Zelkova serrata*

原産は東アジアの一部と日本に分布する落葉高木で、日本北海道南部から九州にかけて分布する。山林や丘陵地だけでなく、神社仏閣や公園、街路樹、学校でも多くが植栽されており、身近な樹木である。樹高は20～25mと大木になり中には40mを超える個体もある。

桜の花が終わるころ、一斉に若葉が芽吹き清々しい春の季節を感じさせる。夏は暑い日差しを遮り涼しい木陰を与え、秋には黄・赤に色を変える葉を楽しむことが出来る。

ケヤキは個体により黄葉と紅葉する樹があり、これは遺伝の違いと言われている。

黄葉する葉には緑色の色素と黄色い色素がある。緑は光合成が主な仕事であるが、秋が近づくと太陽の光も弱くなり、光合成で得られる栄養と葉を維持する栄養とが逆転するため落葉の準備に移り、その時緑色の色素も不要となるため分解し消滅する。葉には黄色い色素が残るため、黄葉が始まる。

ケヤキは各地の公園、街路樹などでご覧いただけます。

イロハモミジ (伊呂波紅葉) ムクロジ科カエデ属 学名: *Acer palmatum*

原産は日本、朝鮮半島、中国、台湾に自生し、日本では北は福島県から九州 日本海側では福岡県以西で分布する落葉の高木で、樹高は10～15mに成長する。イロハモミジは、紅葉の代表的な樹で、モミジの紅葉という場合は本種を指すことが多い。また、イロハモミジの語源であるが、葉が手のひらのように5～7つ裂片があり、この裂片を「いろはへ」と数えたことに由来する。

紅葉の仕組みとして、葉には緑色の色素であるクロロフィルが含まれるが、日照が短くなり気温が下がると分解される。次に葉に蓄えていた糖類が紫外線の影響により赤色の色素 (アントシアニン) が形成され、これが作られると紅葉が始まる。

イロハモミジは、小宮公園、武蔵国分寺公園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、林試の森公園、大島小松川公園、八柱公園などでご覧いただけます。

●秋留台公園	あきる野市二宮 673-1	☎042-559-6910
●小山内裏公園	町田市小山ヶ丘 4-4	☎042-676-8865
●小山田緑地	町田市下小山田町 361-10	☎042-797-8968
●小宮公園	八王子市砦町 2-41-6	☎042-623-1615
●小金井公園	小金井市関野町 1-13-1	☎042-385-5611
●武蔵野国分寺公園	国分寺市泉町 2-1-1	☎042-323-8123
お ●神代植物公園	調布市深大寺元町 5-31-10	☎042-483-2300
周 ●野川公園	三鷹市大沢 6-4-1	☎0422-31-6457
合 ●井の頭恩賜公園	武蔵野市御殿山 1-18-31	☎0422-47-6900
せ ●砧公園	世田谷区砧公園 1-1	☎03-3700-0414
先 ●芝公園	港区芝公園 4-10-17	☎03-3431-4359
●林試の森公園	品川区小山台 2-6-11	☎03-3792-3800
●亀戸中央公園	江東区亀戸 9-37-28	☎03-3636-2558
●大島小松川公園	江東区大島 9-9	☎03-3636-9365
●汐入公園	荒川区南千住 8-13-1	☎03-3807-5181
●水元公園	葛飾区水元公園 3-2	☎03-3607-8321
●八柱公園	千葉県松戸市田中新田 48-2	☎047-387-2181